

平成29年度 学校教育目標等

教育局	宗 谷	学 校	北海道 浜頓別 高等学校	課 程	全日制課程
-----	-----	-----	--------------	-----	-------

学 校 教 育 目 標

- 1 学力・体力をつくとともに、情操を培う。
- 2 開拓者精神を受け継ぎ、創意工夫の実行力を養う。
- 3 明るく、楽しい社会の形成者としての資質を養う。

1 重 点 目 標

- 目標に向かって心豊かで、逞しく、主体的に行動できる生徒の育成を目指す。
- (1) 進んで学習に取り組む意欲・態度を培い、社会で生きる実践力を高める。
 - (2) 挨拶の励行や生活習慣の改善を促し、自己をコントロールできる力を高める。
 - (3) 進路に係る情報を進んで求める姿勢及び目標を定め、粘り強く挑戦する姿勢を育む。

2 経 営 方 針

- 「地域に支えられ、地域とともに歩む学校」
- 生徒の可能性を広げ、自己実現を積極的に支援するとともに、地域の学校として大きな魅力を創出する。
- (1) 現状や課題等の把握と共有に努め、改善への取組を推進し、本校の活動をPRする。
 - (2) 丁寧な説明と傾聴に努め、学校が家庭や地域と連携し、生徒支援体制の強化を図る。
 - (3) 法令遵守と健康管理に努め、教育公務員として研鑽に励み、道民の負託に応える。

3 教育課程編成の方針

- (1) 生徒一人ひとりの個性や能力の伸張を図り、自己実現を支援する。
- (2) 基礎基本の定着を図るとともに、自ら学ぶ態度と考える力の育成を図る。
- (3) 生徒の社会的な自立に向けて、協働的体験的な学びを推進し、不断の見直しを図る。

4 指導上の重点事項

学 習 指 導	・学習指導要領の趣旨を踏まえ、指導及び評価方法の工夫・改善を図る。 ・継続的な家庭学習習慣の構築に向け、意欲を喚起し、自学自習を促す取組を進める。 ・生徒の学力向上にむけ、研究・研修に対し、積極的に取り組み、授業改善に活かす。
生 徒 指 導	・学校、家庭、地域の連携を推進し、共感的な生徒指導・生徒理解を実践する。 ・HR活動、生徒会・部局活動等の活性化を図り、規範意識や社会性・協調性の醸成を図る。 ・「いじめ防止対策推進法」見直しの趣旨を踏まえ、未然防止の徹底を図る。
進 路 指 導	・HRや総合学習等での系統だった進路活動を通して、望ましい職業観の育成を図る。 ・地域や関係機関等との連携により、進路情報の収集・精選を図り、効果的に活用する。 ・多様な生徒の進路希望や能力・適性を踏まえ、自己実現を支援する取組を推進する。
健 康 ・ 安 全 指 導	・健康に関する正しい知識に基づき、自己管理能力を高める指導の充実を図る。 ・自然災害や交通安全等に係る防災意識の啓蒙を図り、自他の生命の安全確保に活かす指導を工夫する。 ・教育相談及び特別支援教育体制の充実を図り、生徒に寄り添った指導を実践する。

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。